

SPODフォーラム

日 時：令和元年8月28日（水）～30日（金）
場 所：愛媛大学城北キャンパス
主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）
全体テーマ：「大学教育の組織力」
参加費：SPOD加盟校の教職員 無料
SPOD加盟校以外の教職員 10,000円
参加者数：535名（延べ1,734名）

SPODフォーラムとは

大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD・SDプログラムならびに組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場

特徴

1. 多彩な講師陣
2. 職場で使える実践型プログラム
3. SDプログラムも多数開講

実施内容及び成果

あらゆる立場の教職員が、その場でのスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供することを目的として、8月に愛媛大学において「SPODフォーラム2019」を開催した。愛媛大学での開催は、平成28年度（SPODフォーラム2016）に実施して以来、3年ぶり7回目となる。昨年、節目の10年を迎え、新たな一步を踏み出した本フォーラムは、初日のポスターセッションに加え3日間で15の新規プログラムを含む全40のプログラムを開講した。本フォーラムでは、全体テーマに「大学教育の組織力」を掲げ、過去のアンケートに寄せられた参加者からの要望や時代のニーズ等を考慮しつつ、テーマに関連したプログラムを始めとした多種多様なプログラムを提供し、参加者それぞれの立場ごとに、自身が何を身につければよいのかを考える契機とした。

シンポジウムでは、「大学教育の組織力を高める」をテーマに3名のシンポジストの講演及びディスカッションを行った。まず、濱名篤氏は、学長の立場から、アセスメントポリシーを含む4つのポリシーなどの教学マネジメントの体制と目標達成に向けたリーダーシップの実践について述べた。次に、畠田敏行氏は、IR担当者としてトップの意思決定を支える立場から、現場が最高のパフォーマンスで活動できることを目的として、学内の教育改善情報の流通やロジスティクスを整える必要があると述べた。さらに、井上真琴氏は、事務職員としての自身の経験を踏まえ、大学教育の支援を行うためにできることと学ばなければならないことについて自身の考えを述べた。3名の話題提供の後、指定討論者（弓削俊洋愛媛大学教育担当理事・副学長）を交え、ディスカッションや質疑応答が行われた。参加者からは、「職員としてどうあるべきか、大学の将来をどう考えていくかについて、今一度考える良いきっかけとなった」「組織における意思決定までのプロセス（動き）が参考になった」「組織レベルでの改革の難しさを再認識したが業務についてより努力したいと思えた」等のコメントがあった。

シンポジウムの講演記録は119～144ページに掲載している。



大学等の経営管理を担うために必要な情報を収集し、トップリーダーとしての能力を高めることを目的とした「トップリーダーセミナー」は、2名の講師によって2コマ連続で開講された。1コマ目の「管理職に求められる政策力」では、これからの大学入試、学生募集、高大接続の在り方について、「成長」をキーワードにいくつかの事例を解説しつつ、受講者が自校の方向性を考える上でのヒントを提供した。受講者からは、「非常に刺激を受けた。自身は管理職ではないが、管理職を上手に巻き込んで全体を動かせるようにしていきたい」「職員が身に付けるべき力、若手を育てるために管理職がもっておくべき『芯』の部分について学ぶことができた」等のコメントがあった。2コマ目の「地域に生き世界に伸びる大阪大学の挑戦」では、FD・SDの歴史や課題、そして大学の将来のために教員と職員それぞれが大切にすべきことは何かなどについて、講師の長年にわたる教育経験を基にした示唆から、受講者に熟考を促した。受講者からは、「社会連携・産学連携のイメージが理系寄りになっていたが、人文社会科学系と社会・企業との連携をどうしていくのかという大阪大学の事例を知ることができ、本学でも活かせると思った」「大阪大学の取組を財務的切り口で披露いただき、『国立大学としての存在意義』が明快に示されたことに感銘を受けた」等のコメントがあった。



新規プログラムの中には、「カリキュラムコーディネーターのための基礎知識」があった。40名の参加者は、カリキュラムの編成、実施、評価、改善といった内部質保証に関する原理や実践的な知識を学んだ。参加者の所属大学におけるカリキュラムの現状と課題を共有するセッションも設けられ、参加者間の活発な議論もなされた。

初日のプログラム終了後には、今回で5回目となるポスターセッションを実施した。加盟校外から21組（うち発表代表者の所属が加盟校7、加盟校外14）の取組発表があり、ポスターセッションを通じて各校のFD・SDの取組に関する活発な意見交換が行われた。また、参加者による投票及び審査員による審査を行い、5組に「優秀ポスター賞」を授与した。

本フォーラムには全国各地からの参加があり、参加者数は過去最高の535名（延べ1,734名）に上った。加盟校外からの参加者も近年増えており、今年度も6割が加盟校外からの参加者であった。フォーラム終了3週間後からWeb回答形式で実施した事後全体アンケートでは、回答者の99%から「満足」の評価を得るとともに、知識やスキルの習得及びそれらの現場での活用、意識改革等の各項目で、約90%が肯定的回答をするなど好結果となった。加盟校内外別の比較では、加盟校外参加者の方が全体的に肯定的回答者の割合が高く、全体的な満足度も高い傾向があった。加盟校外では、特に意欲の高い方が積極的にフォーラムに参加している傾向が見られ、こうした意欲の高い加盟校外参加者の存在は、学びの効果や意欲を高める等、加盟校内からの参加者にもより良い影響を与えるものと期待できる。また規模別では、規模が大きくなるほど全体的な満足度は高くなる傾向があった。



なお、事後全体アンケートではSPODフォーラムへの要望についても同時に調査しており、本アンケート結果ならびに要望への対応については、30～46ページに掲載しており、次回の「SPODフォーラム2020」は、6年ぶりに高知大学での開催を予定している。

SPODフォーラム2019の受講者数について（プログラム別）

令和元年9月2日（月）現在

日時	番号	プログラム名	講師	定員	受講者数	教員	職員	①SPOD内	②SPOD外
8/28 1時限	2801A	始めよう！アクティブラーニング型授業－話し合いの技法編－	葛城 浩一	36	33	33	0	18	15
	2801B	高等教育機関のSDGsへの貢献を見える化する	小林 修	40	29	18	11	14	15
	2801C	大学職員のためのコーチング	小林 忠資	40	32	4	28	10	22
	2801D	教学IRが機能する組織におけるデータ管理	竹中 喜一 山咲 博昭	60	48	16	32	10	38
	2801E	大人数講義のコツ	小林 直人	90	27	22	5	15	12
	2801F	職員のための「講師養成講座」	吉田 一恵 久保 秀二 大塚 陽介 宮原 秀明 小林 諒太郎	16	15	0	15	4	11
8/28 2時限	2802A	始めよう！アクティブラーニング型授業－教え合いの技法編－	佐藤 慶太	36	33	32	1	17	16
	2802B	若手職員向け超入門！研究者と学術情報流通	井上 昌彦	40	39	3	36	18	21
	2802C	人材育成のための人事評価－評価からパフォーマンス・マネジメントへ－	阿部 光伸	40	37	11	26	9	28
	2802D	IRデータ分析演習	高畑 貴志	40	38	16	22	19	19
	2802E	授業内グループワークへの参加意欲を高めるためのアイデア	村田 晋也	40	40	33	7	18	22
8/28 3時限	2803A	始めよう！アクティブラーニング型授業－文章作成の技法編－	西本 佳代	36	35	34	1	20	15
	2803B	地域連携マネジメント・プロジェクト企画論	坂本 世津夫	48	44	20	24	22	22
	2803C	若手職員のためのリーダーシップ入門	大本 盛嗣	32	29	4	25	14	15
	2803D	あなたもできるケースメソッド型授業・研修	上島 洋佑	60	46	36	10	15	31
	2803E	大学設置認可申請入門	長山 琢磨	90	66	8	58	15	51
8/29 1時限	2901A	反転授業をやってみよう－橋本メソッドの実践から－	金西 計英	50	35	34	1	13	22
	2901B	研究支援の基礎知識－ゼロから始める研究者との協働－	宮内 卓也	28	22	4	18	9	13
	2901C	職員のためのプロジェクト・マネジメント	丸山 智子 砂田 寛雅	40	37	2	35	12	25
	2901D	経験を学びにかえる－キャリア形成のためのふり振り返り入門－	塩崎 俊彦 未本 美千代	60	36	15	21	12	24
	2901E	トップリーダーセミナー「管理職に求められる政策力」	塩田 邦成	90	75	24	51	34	41
	2901F	ルーブリック評価入門－考える、つくる、活用する－	俣野 秀典	40	39	29	10	14	25
8/29 2時限	2902A	学生の学修を促す質問の作り方	川野 卓二	36	34	33	1	11	23
	2902B	事例で考える教職課程における多様な履修相談対応	小野 勝士	40	33	0	33	18	15
	2902C	スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ	吉松 明子 西尾 澄気 重松 映美	40	27	3	24	5	22
	2902D	発達障害の診断・傾向のある学生の対応方法	佐々木 銀河	72	71	30	41	49	22
	2902E	トップリーダーセミナー「地域に生き世界に伸びる 大阪大学の挑戦」	小川 哲生	90	77	25	52	34	43
	2902F	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン	俣野 秀典	40	37	35	2	15	22
8/29 3時限	2903G	シンポジウム「大学教育の組織力を高める」	濱名 篤 高田 敏行 井上 真琴 指定：弓削 俊洋 司会：小林 直人	270	267	129	138	117	150
8/30 1時限	3001A	グラフィックシラバスを書こう！	宮田 政徳	50	21	21	0	11	10
	3001B	理工系講義形式授業における発問を中心にすえた授業デザイン	榎原 暢久 吉田 博	40	18	17	1	6	12
	3001C	大学職員の基礎力を考える	織田 隆司	40	36	3	33	14	22
	3001D	教職員のための「大学の危機管理」－事例から考えるハラスメント－	吉田 一恵 高木 佳代子	36	31	11	20	16	15
	3001E	教務事務関連法規の考え方－業務に活かす－	宮林 常崇	90	51	3	48	22	29
	3001F	カリキュラムコーディネーターのための基礎知識	中井 俊樹 佐藤 浩章	40	40	22	18	13	27
8/30 2時限	3002A	学びやすさを高めるための授業の再構造化	仲道 雅輝	40	21	21	0	8	13
	3002B	支え促す体験学習	高橋 平徳	40	11	9	2	5	6
	3002C	5年後のなりたい自分像のために－何から始めますか？－	各務 正 野口 里美	12	3	0	3	2	1
	3002D	教職員のための「初めての合理的配慮」講座	太田 琢磨 C B P ほか	40	33	6	27	19	14
	3002E	伝わるテクニックとしてのデザイン－レイアウト編－	徳田 明仁	90	83	30	53	49	34
合計				2158	1729	796	933	746	983

※ポスターセッションのみ参加（プログラム受講なし）の5名(教員3名、職員2名)を含め、8/28～30延べ参加者数1734名

SPODフォーラム2019ポスターセッション「優秀ポスター賞」受賞取組一覧

投票場所：愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B 1階 CRI-1講義室
 投票期間：令和元年8月28日(水)17:40～令和元年8月29日(木)13:00
 表彰式：令和元年8月29日(木) 情報交換会時

ポスター番号	テーマ	発表代表者			SPOD加盟校	共同発表者 氏名(所属)
		氏名	所属			
7	全学初年次教育を通じたAL普及に向けた取組とその課題	塩川 奈々美	徳島大学 高等教育研究センター		○	
8	文学部によるAL型授業の新たな実践とその課題	野呂 靖	龍谷大学 文学部仏数学科			遊野 正道(龍谷大学 文学部) 恩田 清範(龍谷大学 文学部教務課)
12	ピアチュータープログラム開発と今後の展望	大場 枝里	神田外語大学 アカデミックサクセスセンター			ホール 真由子(神田外語大学 アカデミックサクセスセンター)
15	自己評価ルーブリックの異分野間共同開発の試み	大塚 みさ	実践女子大学短期大学部 日本語コミュニケーション学科			三田 薫(実践女子大学 短期大学部英語コミュニケーション学科) 清田 夏代(実践女子大学 教職センター)
21	新任職員育成制度「Rising3」について	室井 ひとみ	武庫川女子大学 教務部教務課			

SPODフォーラム2019ポスターセッション取組一覧

日時：令和元年8月28日(水)17:40～19:00
 場所：愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B 1階 CRI-1講義室

ポスター番号	テーマ	発表代表者			SPOD加盟校	共同発表者 氏名(所属)
		氏名	所属			
1	全教員で行う3学年4学科横断型PBL授業Go+workの実践と成果	大塚 毅彦	明石工業高等専門学校 建築学科イノベーションオフィス長			
3	ラーニングポートフォリオを用いた振り返りによる効果	吉田 博	徳島大学 高等教育研究センター		○	
4	理工系FDプログラム 中期の授業設計から発問設計へ	榊原 暢久	芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター			吉田 博(徳島大学 高等教育研究センター)
5	組織で取り組むALと学修成果の可視化	清口 侑	京都光華女子大学短期大学部 学生サポートセンター			櫻田 詩織(京都光華女子大学短期大学部 学生サポートセンター)
6	アクティブラーニングによる保健医療福祉教育のレリハンス	岡 多枝子	人間環境大学 松山看護学部		○	三並 めぐる(人間環境大学 松山看護学部)
7	全学初年次教育を通じたAL普及に向けた取組とその課題	塩川 奈々美	徳島大学 高等教育研究センター		○	
8	文学部によるAL型授業の新たな実践とその課題	野呂 靖	龍谷大学 文学部仏数学科			遊野 正道(龍谷大学 文学部) 恩田 清範(龍谷大学 文学部教務課)
9	AL育成に向けた教職員研修体系の構築と組織的展開	馬本 勉	県立広島大学 総合教育センター			門戸 千幸(県立広島大学 総合教育センター) 岡田 高嘉(県立広島大学 総合教育センター) 川口 博之(県立広島大学 庄原キャンパス事務部教務課) 伊藤 俊(県立広島大学 本部教務課)
10	複雑化するキャリア支援のFD・SDの相補的統合	晶 一樹	徳島大学 高等教育研究センター		○	三木 正久(徳島大学 高等教育研究センター)
11	FD・SDによる教育改善への取り組み	内田 竜司	福岡歯科大学 教育支援・教学IR室			児玉 淳(福岡歯科大学 基礎医学部門生体構造学講座機能構造学分野) 赤間 尚希(福岡歯科大学 教育支援・教学IR室)
12	ピアチュータープログラム開発と今後の展望	大場 枝里	神田外語大学 アカデミックサクセスセンター			ホール 真由子(神田外語大学 アカデミックサクセスセンター)
13	質保証のための意識改革～FD・SDウィークの試み	杉田 郁代	高知大学 大学教育創造センター		○	塩崎 俊彦(高知大学 大学教育創造センター) 小島 郷子(高知大学 大学教育創造センター) 高畑 貴志(高知大学 大学教育創造センター)
14	九州大学 次世代型大学教育開発拠点の取り組みと成果	小林 良彦	九州大学 基幹教育院次世代型大学教育開発センター			
15	自己評価ルーブリックの異分野間共同開発の試み	大塚 みさ	実践女子大学短期大学部 日本語コミュニケーション学科			三田 薫(実践女子大学 短期大学部英語コミュニケーション学科) 清田 夏代(実践女子大学 教職センター)
16	学位プログラムの現状整理 -新潟大学を事例として-	上島 洋佑	新潟大学 教育・学生支援機構			
17	全学で挑む！トランスフォーマティブ・ラーニング実践	川畑 成之	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科		○	松本 高志(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 小松 実(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 山田 耕太郎(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 太田 健吾(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科)
18	学生による授業評価から考える授業改善	宮崎 大樹	高知学園短期大学 幼児保育学科		○	
19	循環型人材育成推進の取り組み	中嶋 克成	徳山大学 福祉情報学部			寺田 篤史(徳山大学 経済学部) 河田 正樹(徳山大学 経済学部)
20	リーダーシップ科目における振り返りのテキスト分析	佐伯 勇	甲南女子大学 人間科学部			
21	新任職員育成制度「Rising3」について	室井 ひとみ	武庫川女子大学 教務部教務課			
22	大学間連携組織のSD実践 -大学コンソーシアム大阪-	芳中 宗一郎	大阪産業大学 教育研究推進センター-教学推進課			塩川 雅美(大阪市立大学 高等教育研究院) 小林 諒太郎(大阪経済大学 総務部人事課) 宮原 秀明(大阪学院大学 庶務課兼社会連携室)

※ポスター番号2は、諸事情により発表辞退となりました。

S P O Dフォーラム2019 参加者数

【参加者数】

区分	教員	職員	その他	計
S P O D加盟校	126	188	0	314
S P O D加盟校加盟校外	89	132	0	221
合計	215	320	0	535

※ポスターセッションのみ(プログラム受講なし)の5名(教員3名, 職員2名)を含める。

【開催日別参加者延べ人数】

日程・区分	教員	職員	その他	計
8月28日(水)	293	303	0	596
8月29日(木)	363	427	0	790
8月30日(金)	143	205	0	348
合計	799	935	0	1734

※ポスターセッションのみ(プログラム受講なし)の5名(教員3名, 職員2名)を含める。

【参考】S P O Dフォーラムの参加者数経年変化

開催年	開催大学	開催日程	日数	参加人数 (実数)					内訳												延べ人数
									S P O D加盟校						加盟校外						
				合計	教員	職員	学生・ 大学院生	その他	小計	教員	職員	学生・ 大学院生	その他	うち 開催大学	うち開催 加盟校 (開催大学 以外)	小計	教員	職員	学生・ 大学院生	その他	
2019	愛媛大学	R1.8.28~R1.8.30	3	535	215	320	0	0	314	126	188	0	0	69	117	221	89	132	0	0	1734
2018	香川大学	H30.8.29~H30.8.31	3	463	196	265	2	0	275	115	160	0	0	73	18	188	81	105	2	0	1590
2017	徳島大学	H29.8.23~H29.8.25	3	405	169	230	4	2	225	91	131	3	0	69	49	180	78	99	1	2	1428
2016	愛媛大学	H28.8.24~H28.8.26	3	503	191	305	3	4	305	108	194	3	0	87	88	198	83	111	0	4	1469
2015	愛媛大学	H27.8.26~H27.8.28	3	488	197	285	0	6	286	112	172	0	2	74	69	202	85	113	0	4	1507
2014	高知大学	H26.8.27~H26.8.29	3	437	191	239	0	7	259	112	146	0	1	106	57	178	79	93	0	6	1295
2013	愛媛大学	H25.8.20~H25.8.23	4	560	209	312	35	4	369	130	204	35	0	112	128	191	79	108	0	4	1538
2012	徳島大学	H24.8.22~H24.8.24	3	496	168	271	53	4	373	129	191	53	0	103	46	123	39	80	0	4	1432